

【日本遺産】シリーズ⑨

出雲國たたら風土記

鉄づくり千年が生んだ物語



地域に点在する文化や風習、文化財などを一つの「ストーリー」として文化庁が認定している日本遺産。そんな日本遺産に、たたら製鉄に関するストーリーが「出雲國たたら風土記」鉄づくり千年が生んだ物語」として認定されています。

ここでは、日本遺産の構成地域である安来市・雲南市・奥出雲町が共同して、日本遺産の構成文化財を紹介します。

■出雲神楽（雲南市）

雲南市には、出雲神話と深いつながりのある場所がたくさんあり、その神話を演目とした神楽が今も地域に受け継がれています。

有名なヤマタノオロチ伝説では、オロチを「氾濫する川」に、退治したオロチから取り出された剣を「鋼」に、オロチに狙われるイナタヒメ（奇稲田姫）を「川の氾濫により豊かな土地になる



▲出雲神楽

問い合わせ

観光振興課

☎ 23-3110

稲田」に見立て、たたら製鉄との深いつながりとともに語り継がれてきました。このことから、はるか昔からたたら製鉄がこの地域の生活や文化に深く影響を与えてきたことがわかります。令和8年1月25日(日)には、雲南市木次経済文化会館チエリヴァホールにて「雲南神楽フェスティバル」が開催されます。ぜひ、お出かけください。

関連情報はこちら

右下2次元コード：  
出雲國たたら風土記  
Instagram

左下2次元コード：  
鉄の道文化圏ホームページ



＝人権尊重社会の実現をめざして＝

シリーズ  
人権を  
考える 78

『犯罪被害者とその家族の人権』  
～自分自身の問題として  
受け止めましょう～

犯罪被害に遭われた方とご家族は、心身を傷つけられ平穏な日常生活を奪われるだけでなく、メディアの過剰報道や周囲の無理解、誹謗中傷によって、社会で孤立してしまうことが少なくありません。また、多くの人にとって犯罪被害は「自分ごと」として捉えにくく、右の調査のように関心や理解が十分でないのが現状です。

島根県では、令和4年12月に「島根県犯罪被害者等支援条例」が公布されました。犯罪被害者の権利や利益の保護を図り、県民誰もが安心して暮らせる地域社会の実現をめざす取組が進められています。

被害者とそのご家族が一日も早く、平穏な暮らしを取り戻すために必要なのは、その辛い状況や心情への「正しい理解」と、「自分自身の問題」として真剣に考えていく姿勢です。

令和5年安来市人権に関する市民意識調査

「犯罪被害者とその家族の人権」について

▶関心度 10.2%

▶どのようなことが問題か？ 複数回答（%）

マスメディアによるプライバシーの侵害	58.1
周囲の無責任なうわさ話等による二次被害	50.8
ネット上の情報拡散（被害者の写真・経歴等）	41.0
人権への理解や認識が十分でないこと	39.2
経済・心理的悩みへの地域・職場・学校の無理解	21.7
特に問題だと思わない	3.1

ひとりで悩まないで…

島根県犯罪被害者等支援総合窓口

☎ (0852)28-7830 FAX(0852)32-5918

◆1月の「特設人権相談所」

開設日時 1月20日(火)9時30分～12時

場所 安来中央交流センター 第3会議室

問い合わせ 人権施策推進課 ☎ 23-3095

